

2014年3月27日「あいち地球温暖化防止戦略2020 推進会議」話題資料

## 『平成25年度 地域での地球温暖化防止活動基盤整備事業』概要

### 1、地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置と開催内容

#### ○構成員

県内行政機関⇒環境省中部地方環境事務所、愛知県、名古屋市、豊田市、田原市  
 地球温暖化防止活動推進員（2名）  
 地球温暖化防止活動推進協議会（2団体）  
 学識経験者（1名）

#### ○協議内容

構成員の温暖化防止活動の情報共有。豊田市及び田原市での取り組みを現地見学。

### 2、省エネモニター調査

推進員及び施設見学参加者を対象としてアンケートにより家庭における電気・ガス等エネルギー使用状況とともに、住居形態や居住環境、環境意識なども把握して、家庭のタイプ別の平均値二酸化排出量を算出し普及啓発活動等の参考データとして活用。

問10-2	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金/CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
環境保全行動に取組む 難易度	↑ 取り組みやすい層 平均より低い・少ない	回答者数	25	11	6	42
		平均料金	12,562 円	17,490 円	20,044 円	14,921 円
		平均CO2排出量	183.40 kg	245.11 kg	279.48 kg	213.29 kg
	↓ 取り組みにくい層 平均より高い・多い	回答者数	20	9	10	39
		平均料金	12,294 円	16,826 円	21,848 円	15,916 円
		平均CO2排出量	182.31 kg	237.70 kg	328.12 kg	234.32 kg
	回答者数	18	9	14	41	
	平均料金	13,711 円	19,585 円	21,541 円	17,893 円	
	平均CO2排出量	203.95 kg	283.00 kg	320.87 kg	264.37 kg	

赤字: 全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

### 3、気候変動テキスト（仮称）の制作

#### ○形状

温暖化に起因すると考えられる各種の情報を取り外し可能なバインダーによるとじ込みでA5版サイズ・カード形式により取りまとめ、主に推進員が温暖化防止活動に資する資料として利用しやすいツールを作成。

#### ○構成

第一章から第五章までとし、平成25年度は、気候変動に関わる情報を要約した第一章と気候変動の実像をまとめた第二章を完成させ、平成26年度以降にIPCC5次報告を参考に気候変動の影響や対策や取組事例を取りまとめる予定。

